

【徳島県農林水産基本計画レポート(要約版)】

I 豊かで充実した食料の提供(食料政策)

1 食料供給機能の強化



安全で安心な「食料」の安定供給

<ねらい>

県民の皆様に「食料」を安定的に供給し、将来にわたり不安なく、食料を確保するため、水田等の有効活用による「食料供給機能」の強化により、安全・安心な食料の安定供給を図る。併せて、県民の健全で安定的な食生活を維持・確保するため、食育・地産地消等の施策を講じた。

【施策の取組状況】

事業名	事業内容
1 活力ある多様な水田農業の推進	新規需要米を含めた水稻と園芸作物、麦、大豆を組み合わせた「徳島型」水田農業を推進した。また、「戸別所得補償制度」を最大限活用し、水田農業の経営安定を図った。
2 農産物の安全性を確保する体制整備	「とくしま安 ² 農産物」認証制度の推進や、農薬の安全使用、家畜防疫や衛生対策に取り組んだ。
3 食育・地産地消の推進	「食育」を総合的に推進するとともに、県産品の活用等による「地産地消」の取組みを促進した。

【基本計画の達成状況】

	H20	H23.8	目標値(H24)
○新規需要米の作付面積(飼料用米)	3 ha	394 ha	720 ha
○とくしま安 ² 農産物認証件数	1,400人	1,942人	2,400人
○食育推進協力店数	112店	239店	250店

II 農林水産業の振興(産業政策)

1 新鮮とくしまブランド戦略の展開



「生鮮食料供給地」として更なる発展

<ねらい>

本県農林水産業を大きく飛躍させるため、「安全・安心」に裏付けされた産地の供給力の向上、あらゆる手法を駆使した多様な販売チャネルの構築に加え、「新鮮なっ!とくしま号の展開等による「とくしまブランド」の浸透を図った。

【施策の取組状況】

事業名	事業内容
1 跳る!とくしまブランド展開事業等	新たに5店舗登録した「とくしまブランド協力店(合計30店)」を核に、県産品取扱強化週間での集中PRや、「新鮮なっ!とくしま大使」を新たに17名委嘱(累計111名)し、ブランドの普及を図った。
2 「新鮮なっ!とくしま」号運行事業	県内、京阪神、中京及び京浜地域において、量販店の店頭やイベント会場等でPR活動を46回行った。
3 魅せる!とくしまブランド事業	県と生産者団体、日本野菜ソムリエ協会と連携し、実需者に直接PRする「とくしまブランドSHOW」を開催し、販売強化対策を図った。
4 とくしまブランド農林水産物海外発信事業	東アジアの輸出拠点づくりを進めるため、県産農林水産物をアピールする商談会の開催、統一口ゴマークの海外における知的財産権の保護(商標出願)を行うなど、輸出促進の取り組みを進めた。

【基本計画の達成状況】

	H20	H23.8	目標値(H24)
○とくしまブランド協力店数	21店舗	30店舗	35店舗
○「新鮮なっ!とくしま」号運行回数	208回	292回	400回

2 林業飛躍プロジェクトの推進 ➡ <ねらい>

徳島の林業を「再生」から「飛躍」

川上の生産現場から川下の木材利用に至る一連の仕組みを構築する「林業飛躍プロジェクト」に取り組み、林業・木材産業の振興と環境を重視した多様な森づくりを推進した。

【施策の取組状況】

事業名	事業内容
1 間伐材の生産対策	間伐団地を新たに4団地（累計192団地）設定するとともに、高性能林業機械の導入（累計30セット）と作業道等を整備、生産コストの低減を図った。
2 人材の養成対策	高性能林業機械を効率的に使える森のエキスパートを養成（累計136人）するとともに、建設業等の林業参入を支援し、新たな林業の担い手となるよう指導した。
3 木材の流通加工・利用推進	製材加工施設等の整備に対する支援や、木造公共施設に対する整備支援などを実施した。
4 林業飛躍プロジェクトの加速化	「森林整備加速化・林業飛躍基金」を造成・活用し、間伐等の森林整備から路網・林業機械・木材加工施設・木造公共施設等の整備までを一体的・総合的に支援した。

【基本計画の達成状況】

	H20	H23.8	目標値(H24)
○林業プロフェッショナル数（累計）	104人 H19	136人 H22	144人 目標値(H24)
○公共事業での県産木材使用量	10,015m ³	10,863m ³	12,000m ³

III 農山漁村の活性化【地域政策】

IV 県民の参画・協働【協働政策】

1 中山間地域等への支援 ➡

潤いと安らぎのある「農山漁村」の創造

<ねらい>

中山間地域が県土の8割以上を占め、全国より高い中山間比率となっている本県の農山漁村において、美しい自然環境や、豊富な地域資源を活かし、人・もの・情報が循環する「魅力あふれる農山漁村づくり」を進めた。

【施策の取組状況】

事業名	事業内容
1 中山間地域総合整備事業等の推進	中山間地域において、農業生産基盤・農村生活環境基盤の整備を総合的に行い、地域の活性化を図った。
2 中山間地域等直接支払事業の推進	農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し、多面的機能の確保を図った。
3 野生鳥獣被害防止対策の推進	野生鳥獣による被害状況を把握し、農作物鳥獣被害防止対策事業及びとくしま強い農林水産業づくり事業により、被害防止に努めた。
4 農地・水・環境保全向上対策	農業者と地域住民等の多様な主体の参画により、農地・農業用水等の保全管理や農村環境向上のための取組みを支援した。

【基本計画の達成状況】

	H20	H23.8	目標値(H24)
○中山間地域における担い手の育成数	129人	178人	180人
○市町村における鳥獣被害防止計画の策定	12市町村 H19	19市町村 H22	21市町村 目標値(H24)
○農地や農業用水などを保全する協働活動	2,269回	4,050回	2,500回